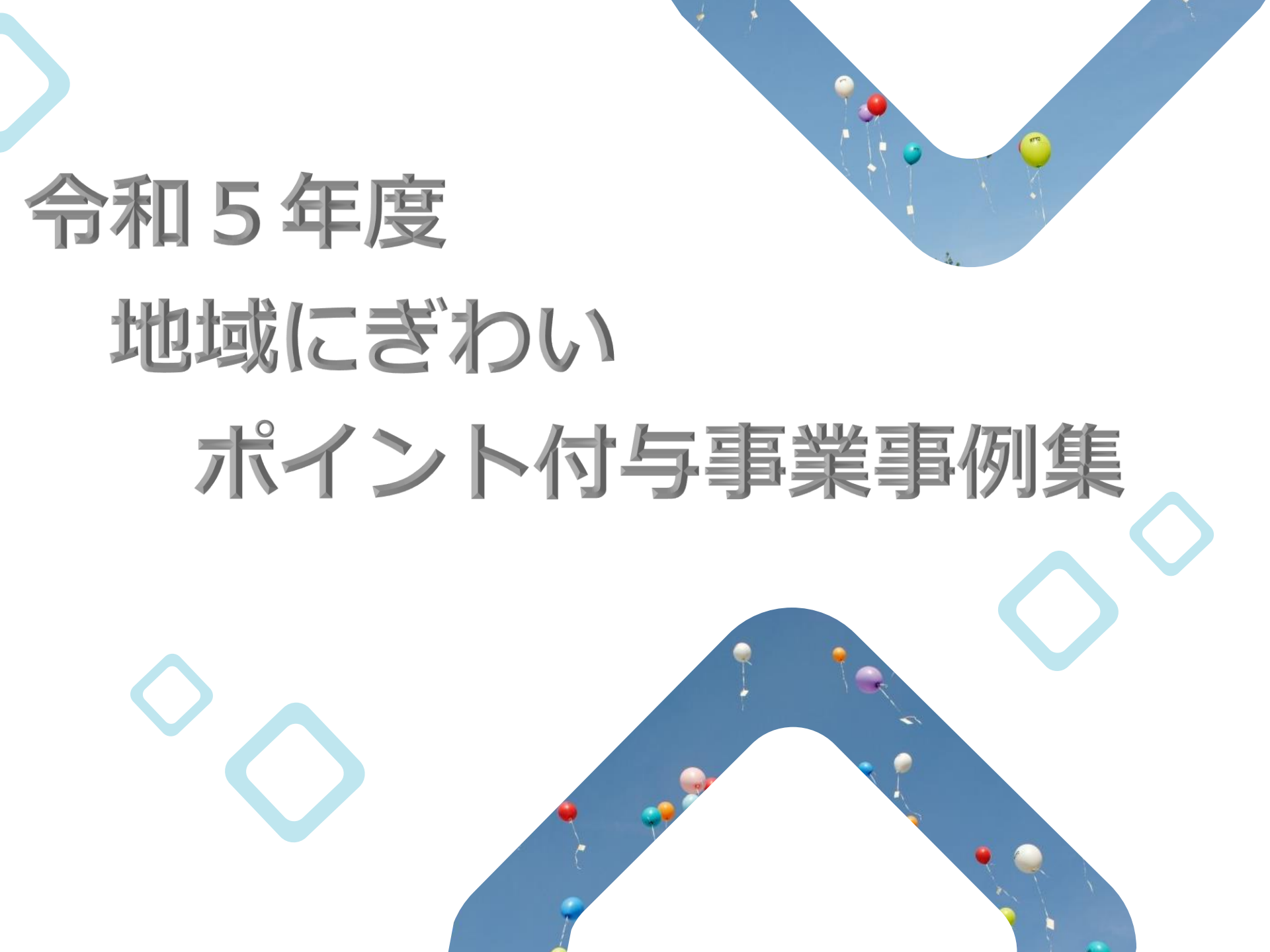


The background features large, stylized blue geometric shapes, including a 'V' at the top and a 'W' at the bottom. These shapes contain images of colorful balloons (white, red, blue, yellow, purple) against a clear blue sky. Additionally, there are several light blue outlined diamond shapes scattered across the white background.

令和5年度

地域にぎわい

ポイント付与事業事例集

目次

タイトルをクリックすると該当ページに飛ぶことができます。

- [上連雀三丁目四ツ葉自治会](#)
- [一般社団法人江戸小噺つながりコーチング](#)
- [地域ボランティア団体“うず”](#)
- [阿波踊り振興会](#)
- [京王つつじヶ丘自治会](#)
- [井口小ダディーズ](#)
- [下連雀第一町会](#)

実施内容

かみさんひろば草刈り

2023(令和05)年06月03日(土) 08:00～14:00

2023(令和05)年09月02日(土) 08:00～14:00

2023(令和05)年11月12日(日) 08:00～14:00

地区在住有志(ボランティア)により、地区保育園児の遊技場となっているため、その安全性を確保のため年に2～3回程度実施。今期は上記3回実施。



歳末夜警

2023(令和05)年12月28日(木)・29日(金) 19:00～22:00

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染を考慮し今回は積極的な広報はせず、地区在住有志(ボランティア)、特に小学生の「声」をかりるため、子どもたちのロコミで声かけを広報手段としました。



ポイント導入の効果

****参加者数**** 地域ポイントが付与されるからイベントに参加する、そのモチベーションに大きな効果は正直見られないような気がします。「地域ポイント」の制度そのものを行政が主体となって広報していくことが大きな前提課題となりそうなのが、今回の一連行事を通じて浮き彫りになったような気がします。

****満足度**** ポイントを付与していただけることに、不満を述べる方は皆無です。いただければそれなりに嬉しいことは事実ですが、その後には必ず、「どうやって使うの?」というフレーズがワンセットとなっていますので、やはり前述の制度広報が重要な気がします。

課題や今後に向けたアイデア等

****課題**** 前掲載のように、「地域ポイント」の制度そのものの積極的な広報戦略を、関係各方面のスタッフでブレインストーミングしてみても如何でしょうか? また、その交換内容についても並行した広報が必要かと思われる。

****満足度**** ポイント付与には全員が満足です。

感想や来年度への抱負

行政からポイント付与権限をいただけることは、大変ありがたいことでありますので、我が町会でも「ポイント制度」普及に尽力したいと思います。

これと同時に、前向きに制度設定をして頂いた行政の「趣旨」の情宣にも尽力したいと思います。



上連雀三丁目
四ツ葉自治会

実施内容

江戸小唄を楽しく伝える会

・三鷹いきいきプラスの参加者募集時にポイント付与事業であることを毎月告知しました。広報みたかは1回掲載。前月になぞかけのお題を決めて当日発表あり。お客様の江戸小唄体験もあります。仲間がいる場で、アプリを入れるきっかけになりました。登録しポイントを貯める市外会員は、景品を送ってもらって嬉しそう。当日、その場でアプリを入れてポイントを貯めたお客様1名。地域ポイントをまだ知らない人が多いと感じますが、導入した人の中での関りと笑いの交流は今まで以上に毎回盛り上がりました。

連雀寄席

・連雀地域ケアネットの依頼を受けて、当日の交流会を訪問。聞くだけでなく江戸小唄かるた取りや江戸小唄体操も行い、盛り上がりました。ポイントは今回お客様にはつけない地域ケアネットの事前申し合わせあり、実施できませんでした。会員はボランティアでポイントを貯めて、二重の喜びあり満足そうな表情でした。



ポイント導入の効果

ポイントが使える情報交換や操作がきっかけに会話が広がりました。毎回、場の活性化になり、地域活性化につながるといいます。またポイント付与により、会員も小唄を演じる意欲と喜びが増し、今まで以上に江戸時代の現代に通じる笑い交流が広がりました。個人ポイントの相互交換をみんなが覚えると、その小さい積み重ねによって、さらに楽しいコミュニケーションと笑いを生み出してくれると感じました。

課題や今後に向けたアイデア等

【課題】アプリを入れる事に関心がない方、ポイントや景品に関心のない方も多く、はじめの1歩にハードルがあります。会員から、システムに平等感がないという意見がでました。①PCはやるがスマホIPADを持たない方は蚊帳の外になり②同じことをしても主催団体によって、ポイントの出る出ないがあると聞きました。アプリやQRコードの導入や順番待ちが長いと帰ってしまう方も出ます。イベントの登録を後からも増やせるといいます。自分のポイントと団体用の区分があると助かります。【アイデア】ポイント付与操作は一人で抱えず、イベント時、交換できる人に目印のバッジを付けてもらい、会員がお客様と相互交換でポイントを立て替えて、あとでまとめて返すことで、人数が多いイベント対応も可能になるかと思いました。ポイントの魅力ある景品を増やすと、広がりとする気につながるといいます。市内の野菜とかもいいねの声が出ました。

感想や来年度への抱負

今年はカフェを会場に「江戸小唄茶論」を毎月開催し始めました。お客様とコーヒータイムもあり、工夫しながら地域ポイント活用と相互交換に活かしたいと思っています。周知が広がるほど、市民同士の繋がり交流が広がると思いました。

地域ボランティア団体“うず”

実施内容

☆7月23日知りたいッ!!みたいッ!!深海生物ッ!!

夏休みを迎えた小学生を対象に深海生物の面白さ、調べ方などを、歌、ネイチャーゲーム、江戸小唄を交えてお話。自由研究のヒント盛沢山のイベントに。

☆8月19日くじら号に乗って「地球の今を学ぼう！」

西多世代交流センター夏休み子ども行事の一環として、物語中で深海と宇宙の大冒険に！海や深海の生き物や、海洋プラごみクイズで問題を解決を皆で考え、終了後のアンケートでは、2/3以上の子が、海洋プラごみ問題は解決できるとの答えが出ました。

☆9月30日公開講座「SDGsから見た江戸の暮らし」と子ども小唄体験・和〜クシヨップ

時代考証学会会長の大石学先生より、武蔵野の歴史と江戸時代のエコ戦略を学び、リユース・リサイクルの江戸時代の様々な職業についてのお話を伺いました。江戸に因んだワークショップやコンサート、着物に着替えての江戸小唄体験も含め、親子で楽しく江戸文化を学び、私たちの生活を見直す機会となりました。

☆10月29日うずうずの森・森の図書館

秋の小さな森（二中側一時開放広場）で、ネイチャーゲームやコンサートを交えた絵本と自然に親しむ体験型図書館を開催。子どもも大人もとても楽しんで頂けました。

☆11月19日みたかエコマルシェ2023に、出店&コンサート出演

たくさん子どもさんが参加。まさにうずの目指すSHGs(サステナブル・ハピネス・ゴールズ)を再現したような世界を垣間見ることが出来ました。

☆12月19日シートピアをめざして〜くじら号の旅クリスマス編〜

学童保育げんこつ組とはちのご保育園にて、子どもたちを連れて、サンタやトナカイたちと一緒に歌とお話の流れの中、深海を旅し、海の環境問題について楽しく学びました。



ポイント導入の効果

- ・地域ポイントを通して、メンバーに地域を盛り上げる意識が高まったように感じます。

課題や今後に向けたアイデア等

- ・新メンバーや参加者へのポイントについての周知に努める。
- ・イベントの際に、ポキのキャラとアプリのQRコードを会場の壁に貼り、参加者一人一人に声掛け&使い方も説明する。
- ・うずのメンバー同士でのサービスや物のやり取りがあった場合、にぎわいポイントと交換し合うことなども提案中。
- ・メンバーみんなでポイントを5,000ポイントを貯め、天体望遠鏡を獲得後、天文関連イベントを企画する。
- ・今年度最後のイベントとして、3月23日に行う、大人も子どももみんなで「うずうずDAY2024」の際にも宣伝。

感想や来年度への抱負

- ・今後みたかポイントの利用者が増えた場合、参加者がイベントの材料費の支払いに、ポイントが使えるようになれば、参加者が気軽にイベントに立ち寄れるのではないかと思います。
- ・『エンデの遺言』という著書にある、腐るお金の大事さを思うと、ポイントに期限を設け、地域の中での利益の循環を促進させることも、大切なと感じています。

【三鷹阿波踊り振興会】

実施内容

三鷹阿波おどりの運営 ボランティアスタッフ

令和5年8月19、20日に第56回三鷹阿波おどりを開催し、6大学の学生を中心としたボランティア延べ40名に大会運営に携わって頂きました。

主に出演者に対する対応の踊り場のスタート・ゴール係、給水係をやって頂き、阿波おどりの盛り上がりを実感しやすい場所で、踊り子らの熱気に触れ合うことができるようにしました。



ポイント導入の効果

今回初めて、大々的に学生ボランティアを動員して大会運営を行ったので、一概にポイント導入の効果を比較検証するのは難しいですが、ボランティアに参加した市内在住の学生からは喜ばれました。一方で、ポイントの用途が限られているため、市外在住の学生の中には辞退するケースも見られました。

課題や今後に向けたアイデア等

次年度もやりたいと言ってくれる学生がおり、大会当日だけでなく企画、運営にも携われるよう、通年通しての取り組みもできないか考えていきたいです。地域ポイントを利用できる先が少なく、ポイントを辞退するケースが見られたので、利用先の拡大を各方面に働きかけることや、我々もポイント利用先として阿波おどり関連の記念品等の提供ができないか検討していこうと思います。

感想や来年度への抱負

地域の大学のボランティアを巻き込むことで、より三鷹のイベントとしての魅力発信ができたのではないかと感じています。今後は地域ポイントの普及と共に、地域に根付いた取り組みを企画していけたらと考えています。

【京王つつじヶ丘自治会】

実施内容

清掃活動

- 自治区域内に中仙川遊歩道があり、毎月第4土曜日に自治会員およびシルバー人材の皆様とともに、清掃活動を実施しました。この清掃活動は、環境保全と整備、住民の交流・コミュニティ形成の促進を目的として清掃活動を行っており、参加して頂いた方にポイントを付与しました。
- 本年度、私たち自治会においては、DX推進を積極的に行っていることもあり、公式LINEのデジタル回覧板を開始すると共に、自治会員向けにみたポ事業の案内、参加呼びかけを行い、アプリケーションのインストールを行ってもらいました。その為、清掃活動に参加者の多い年配の方を中心に、みたポ事業に対する参加障壁を下げる事ができました。



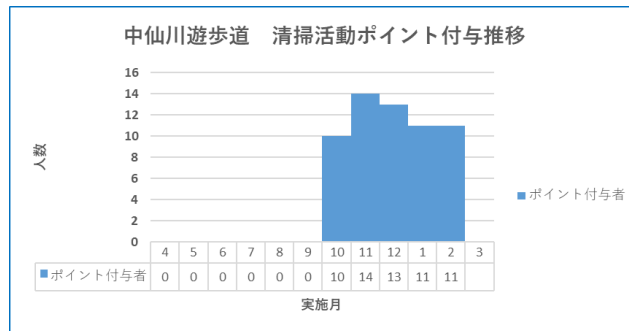
ポイント導入の効果

【ボランティア活動への参加者数】

みたポ導入前は、参加者が平均10人程度だったのに対し、導入後は、2割程度参加者が増加している。

【ボランティア活動への満足度】

ポイントを付与された方々からは、話題が増えた、コミュニティが広がったと前向きな発言が多かった。また、みたポの活動自体に期待する声も多く、年配の方も進んでアプリを活用しようとしている姿がとても印象的だった。



課題や今後に向けたアイデア等

【課題】

新規で増えた参加者はいるものの、急増する状況には至らなかった。ポイント受け取りを拒否する方も一定数いる。

【今後に向けたアイデア】

ポイントを貯める事に注力しているので、みたポが使用される環境作りと、子供への認知度向上・参加数増加

感想や来年度への抱負

新規参加者が増加した事は事実なので、ポイント付与する活動ができてよかったと思う。

ただ、自治会の活動として、単年となっている事と、各年度毎にアイデアを出し、ポイントを付与する活動を提案することには、限度があるので、活動内容の敷居を低くしてもらえると継続性が高まるのではと考える。

【井口小ダディーズ】

実施内容

運動会

- 井口小学校で運動会開催されました。学校や地域の方と共に先生と子どもたちを全面サポート。写真は赤・白組の得点掲示板から。

ふれあい広場

- 140名の子どもが参加。ガガや昔遊び等を楽しむ。東京都教育委員会の感謝状贈呈団体として、貝ノ瀬教育長から表彰状を授与。

もちつき

- 餅つき大会を実施。4～6年生対象で53人が参加。からみ、のり、きなこの3種類のお餅を食べて、持ち帰り用に鏡餅を作りました。

ウィンターイベント（キャンドルナイト⇒逃走中）

- 174名の子どもたちが参加。にしみたか学園からも二中生28名がハンターとして参加。子どもたちと全力で追いかけてをしました。



↑運動会 ↓ふれあい広場



↑もちつき ↓逃走中



ポイント導入の効果

【ボランティア活動に対する意識がレベルアップ】

にぎわいポイントを導入したことにより、通常の学校サポートやこどもたちにプロデュースしているイベント活動がボランティア活動として地域活性に繋がるという認識になり、各種活動がより地域への貢献となるということを考えるようになりました。（年末頃までポイントが使えるのがグラウンド駐車場や有料ゴミ袋等限定されていたが、最近加盟店が多くなり魅力度がアップしたので、意識もよりポジティブになりました）。

課題や今後に向けたアイデア等

【課題】

地域ポイントの知名度が低い。アプリをまだ使えていない。実務検証はこれからになる。

【今後に向けたアイデア】

ボランティアで得たポイントを、イベントに参加する子どもたちへの参加賞や景品等に使うことにしました。

感想や来年度への抱負

地域ポイントを導入することで、これまでの活動への考えがより地域を意識するものになりました。

それとこれまで運営や予算的にも発想がなかった、“子どもたちへの参加賞や景品”に使うというアイデアで、ダディーズのイベントをより魅力的なものにできる、そして子どもたちの笑顔＆満足度アップに繋がるだろうと期待しています。

【下連雀第一町会】

実施内容

四小地区むらさき運動会

地域の方々が世代を超えて交流ができるようにと始めた運動会です。今年で3回目の開催となります。交流できるような競技を多く取り入れ、そのうちの一つに防災の意識を高めてもらおうと担架リレーを行いました。参加者は、競技を楽しみながらも、防災の意識を高めることができました。

歳末夜警

毎年年末に町会員とともに警察の方と一緒に拍子木を鳴らし「火の用心」と言いながら、2つのルートに分かれて歩いて町内をパトロールします。また、参加者のコミュニケーションを深めることにより未然に災害・犯罪を防止し、より安心・安全な町会にすることを目的としています。



ポイント導入の効果

色々な世代の方々が参加していたので、幅広い世代に周知をすることができました。

課題や今後に向けたアイデア等

アプリを知らずダウンロードしていない人が多かったので、手間取ったのとダウンロードをめんどくさがった人がいたので、事前にもう少し周知をしダウンロードされた状態での付与が望ましい。

感想や来年度への抱負

アプリのダウンロードの周知を事前に行うことにより効率化を図るようにする。